

デザイン学部

デザイン学科教授 扇 千花

1. 研究活動

| a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する） | b 発表または発行の年月日 | c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称 | d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入） |
|---|---|---|--|
| 個展 | 2013. 5. 21 ～ 6. 2 | ギャラリー揺・京都 | インスタレーション作品 「余白が生まれる」 |
| テキスタイルアート・ミニアチュール展3 —百花百粹— | 2013. 6. 15 ～ 7. 7 | 伊丹市立工芸センター | ミニアチュール作品 「みえないけれど そこにいるのはわかる」 |
| | 2013. 7. 12 ～ 7. 20 | Gallery5610・東京 | |
| 有松絞りまつり | 2013. 6. 1 ～ 6. 2 | 有松絞り産地 | 学生が産地で板締め絞りの技法を学び、手ぬぐいの柄を新たにデザイン、産地で制作、販売する産学連携プロジェクトの企画運営を行う。 |
| (株) ワールド ウインドゥディスプレイ | 2013. 4. 22 ～ 6. 30 | 名古屋フラクサス | Motif Typhoon をファッショントレンドテーマに、産学連携プロジェクトの企画運営を行う。 |
| (株) ワールド ワークショップ | 2013. 6. 8 ～ 6. 9 | | |
| あいちトリエンナーレ 2013 公式グッズ・デザインコン ペティション | 2013. 6. 10 ～ 10. 21 | 名古屋三越あいちトリ エンナーレ 2013 オフィ シャルショップ | あいちトリエンナーレ公式グッズデザイン コンペで最優秀に選ばれた「絞×染 Bag」 200 枚を有松絞り産地で生産、オフィシャル ショップで販売、産官学連携プロジェクトの 企画運営を行う。 |
| 素材展 | 2013. 7. 26 ～ 8. 7 | 名古屋芸術大学アート & デザインセンター | デザイン学部、クラフトブロック 2～4 年生 前期制作展の企画運営を行う。 |
| 内面的刺繍表現 | 2013. 11. 29 ～ 12. 3 | 名古屋芸術大学アート & デザインセンター | テキスタイルデザインコース卒業生の亀井 梓、小川梨紗、堀本有希によるグループ展の 企画運営を行う。 |
| 特別客員教授 若林剛之先生の招聘 | 2013. 6. 18 10. 15 11. 14 11. 19 | 名古屋芸術大学西キャンパ ス X110 | 若林剛之先生講義、有松絞りまつりで販売す る手ぬぐいデザインチェックの企画運営を行 う。 |
| 特別講義 ファッションデザイナー ミントデザインズ「制作の 現場から発想するデザイン " A happy mistake ! "」 | 2013. 4. 27 | 名古屋芸術大学西キャンパ ス B 棟大講義室 | 講演の企画運営を行う。 |

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

| | | |
|--|---|-------------------|
| f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等 | | g その他教育活動上特筆すべき事項 |
| 授業科目 デザイン実技 I F3-2 / 素材体験 | | |
| <input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| <p>1年生ファウンデーションクラフト系課題として、この授業は位置づけられる。自分の身のまわりにある廃品を30種類以上収集し、その素材を使って造形物（立体・半立体・平面）を制作する。手を動かしながら、素材固有の触感、重さ、固さを感じ取りながら、素材同士を組み合わせる。</p> <p>自分のイメージにあわせて素材を組み合わせるのではなく、最初に素材を集めそれを組み合わせながらイメージをつくるという素材体験の重要な考え方を示した。</p> <p>どんな素材に興味をひかれるのかを自分で認識するために、素材収集を行い、その客観化を促した。授業の最終日には、各学生がつくった3作品を全員で鑑賞し、素材体験の面白さに気付くことに焦点を合わせた授業にした。</p> | <p>学生が収集してきた廃品（素材）と学生が制作した3作品を教材とする。</p> | |
| 授業科目 デザイン実技 II（繊維素材） | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| <p>テキスタイルデザインコース最初に受講する実技授業。通常テキスタイル分野の実技は、糸（織り）や布（染め）から始まり、また材料学は座学の場合がほとんどである。しかし、糸や布以前の状態である繊維素材の特質を学生が理解することがテキスタイル教育の根幹であるという考えから、コースの導入授業に「繊維素材」を学ぶカリキュラムにした。</p> <p>また、素材に実際に触れるだけとどまらず、照明（植物繊維によるペーパーメイキング）やティーコゼ（動物繊維によるフェルトメイキング）の制作を通して、より深く素材の特質の理解を促した。</p> | <p>植物繊維 学生が栽培する綿の木。学生が採集した植物。ペーパーメイキングの材料、用具。</p> <p>動物繊維 学生が刈り取る羊の毛。フェルトメイキングの材料、用具。</p> | |

| | |
|--|---|
| 授業科目 デザイン演習 1 (プリント) | |
| □前期 ◆後期 | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 |
| <p>プリントの技術の特徴と、テキスタイルデザイナーに必要なスキルである柄のリピートの付け方の理解を促した。</p> <p>また、染色分野で不可欠な知識である「染料と被染物の組み合わせ」の理解を促すために、色見本製作を行なった。</p> <p>柄のテーマは「植物」とし、100 枚スケッチ～図案～製版～布にプリントした。</p> <p>綿、ウール、ポリエステルなどの様々な布とそれに合った染料、顔料で試し染めを 30 点作成することにより、図案に合った配色、色料と被染物との関係の理解を促した。</p> | <p>さまざまな材質の布、染料、顔料、助材、糊材、ラメなど。</p> <p>シルクスクリーンプリントの材料、用具。</p> |
| 授業科目 デザイン演習 3 (産業テキスタイル) | |
| ◆前期 □後期 | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 |
| <p>2 年前期～3 年前期までの基礎授業では、自分がデザインした布を自分で制作することにより、テキスタイルの素材や技術を学んできた。しかし、卒業後の職となるテキスタイルデザイナーは布のプロダクトデザイナーであり、工場で生産することが大きな違いである。この授業では、産業テキスタイルの第一人者や、専門家を特別講師として招聘し、講義聴講、テキスタイル工場の見学を行う。実社会の現況を知ることから学生の視野を広げ、2 年～3 年テキスタイル基礎、4 年での自由制作、そして卒業後の仕事をつなぐ役割を持つ。</p> | <p>学生が産業テキスタイルの専門家の話を聞き、産業の現場に身を置くこと自体を教材とする。</p> <p>特別講義</p> <p>「アパレルテキスタイル」 テキスタイルキューブ主催 喜多正子先生</p> <p>「椅子のテキスタイルデザイン」 テキスタイルデザイナー 渡部まさみ先生</p> <p>「デザイナーが地場産業に関わり、それを地元の学生が担う意義」 SOUSOU ディレクター 若林剛之先生</p> <p>「ニットジュエリー」 テキスタイルデザイナー 山田さき子先生</p> <p>「中国苗族の染織品」 染織研究家 鳥丸知子先生</p> <p>「ミャオ族の民族衣装いろいろ—中国貴州省」 新田恭子先生</p> <p>見学 フェルト帽子工場 森安 帽子縫製工場 ワールドハット ジャガード織工場 ワイズテキスタイル 有松鳴海絞り会館 板締め絞り工場 張正 染色工場 久野染工 まり木綿ショップ</p> |

| | | |
|---|--|--|
| | インテリアテキスタイル展示会 シンコー株式会社 マテリアルセンター | |
| 授業科目 デザイン実技Ⅲ（地場産業との連携） | | |
| <input type="checkbox"/> 前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| <p>地元のテキスタイル工場と連携してその地域に受け継がれた素材や技術に触れることから、生活を楽しく豊かに変えるための新しいテキスタイルの活用方法を構想し、アイデアを生み出すことをテーマとする。</p> <p>今年度は下記を行った。</p> <p>性格の異なる二つの帽子の工場を見学した後、学生がフェルト帽子、縫製帽子のどちらかの工場を選択し、自分の生活で使用したい帽子を制作した。</p> <p>有松絞り産地でサンプルを染め、それをSOU・SOU ディレクターの若林剛之先生が社会に受け入れられるデザインという視点で選定。成果物（手ぬぐい）は、有松絞りまつりで学生たち自身が販売、デザイン～生産～販売までを一貫して体験する。</p> | <p>学生が書いた指示書をもとに、現場で専門家とのやりとり自体を教材とする。</p> | |
| 授業科目 デザイン実技Ⅳ（卒業制作） | | |
| <input type="checkbox"/> 前期 ◆後期 | | |
| 工夫の概要 | 教材・資料等の概要 | |
| <p>染め、織り、テキスタイルデザインの中から、自分の研究テーマを選択し、卒業制作を行う。</p> <p>学生の指向性を計り、獨創性を伸ばすために、各学生とのディスカッションの時間を充分に取った。各学生のテーマに応じた素材や技術の提案を行い、アイデアをかたちにするプロセスにじっくりとつきあった。</p> <p>学生が選択したテーマにあわせた情報（書籍、展覧会、素材、技術など）</p> | <p>学生が選択したテーマにあわせた情報（書籍、展覧会、素材、技術など）</p> | |

3. 学会等および社会における主な活動